

# 医薬品副作用・感染症症例票

識別番号 C01-2067	2001年6月25日	登録番号 C01-288	2001年4月16日	情報入手日 2001年3月21日	同一症例番号	年月日	死・感・重未・先・感・改・OTC			
区分 患者略名 M.M.	4 女性	30日 入院・外来 外来	妊娠: 無	職業: なし	情報入手日 2001年3月21日	主な既往歴・患者の体質等: 無	(厚生労働省処理欄)			
販売名 (企業名)	シシメトレル (日本チバガイギー) 乳糖 アンヒバ (北陸製薬)	一般名	経路	一日量	開始	終了	使用理由 原疾患には下線 合併症には( )	副作用・ 感染症名	年月日	副作用・ 感染症の発現状況、 症状及び処置等の経過
		S・O	PO	60mg	2001/3/19	2001/3/19		2001/3/18		幻覚NOS、情動障害NOS  副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過 患者の体温、朝 37.7℃、夕 38.5℃。 患者の体温 朝 39.4℃、午後 39.5℃にて当院受診。 フルA(+)より、インフルエンザA型と診断した。 21:00。患者の自宅より電話あり、「眠っていたが起きて、ニタツ としたり、遠い方向を見ている様で、笑ったりして呼名に反応しな い、また何かが見えるとの発言もあった」と訴えられた。 副作用の可能性があるため、病院へ行くようにと説明し、A病院に 電話とFAXにて診察の依頼を行った。 (患者の体温は、38.1℃だった。)
		O	PO	1.0g	2001/3/19	2001/3/19		2001/3/19		
		O	PR	200mg	2001/3/19	2001/3/19				
その他の治療:	無									【転院先から情報】 23:00。外来診察時、意識清明。けいれん等の神経症状(-)。今後、 同様の症状が出現しないかを観察するために入院とした。 入院中に、 ①点滴による補液 (ソリタT3 50ml/h) 3月19日から21日まで ②二次感染予防として抗生剤 (ドイル) 静注 3月19日から21日まで ③咳、鼻水に対して、内服処方 (テルギンG 0.4g、アスベリン 0.2 g、ヒソルボン 0.12g、乳糖 0.28g total 1g) 1.8gを分3とし、3月 20日から21日まで。 ④発熱に対し、クーリングのみで解熱 ⑤3月20日から下痢あり、内服処方 (ラックビー1g、アドソルビン1. 5g total 2.5g) 分3とし、3月20日から21日まで。
再投与:	無									転帰: 回 (2001年3月19日)